

定期予防接種の種類と接種時期

※定められた対象年齢、接種間隔等から外れた場合は、任意接種(自費)となります。

種類	対象年齢	標準の接種年齢	回数	接種間隔(標準的な接種間隔)	備考	
ロタ	1価	生後6週0日～24週0日	2回	14週6日までに接種を開始し、27日以上の間隔で2回	ワクチンには、1価(ロタリックス)と5価(ロタテック)の2種類があり、予防効果に明らかな差は認められていません。 15週0日以降の初回接種は安全性の面からお勧めしていません。また、医師が接種できないという判断をすることもあります。	
	5価	生後6週0日～32週0日	3回	14週6日までに接種を開始し、27日以上の間隔で3回		
5種混合 (DPT-IPV-Hib) ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ、ヒブ	1期初回	2か月～7歳半未満	4回	2か月～6か月	20日～56日の間隔で3回	2か月以降できるだけ早く接種を開始しましょう。
	1期追加			1期初回3回目の接種後1年～1年半未満の間	1期初回3回目の接種後6か月から1年半までの間隔を1回	
4種混合 (DPT-IPV) ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ	1期初回	2か月～7歳半未満	4回	2か月～11か月	20日～56日の間隔で3回	2か月以降できるだけ早く接種を開始しましょう。 ※1
	1期追加			1期初回3回目の接種後1年～1年半未満の間	1期初回3回目の接種後6か月から1年半までの間隔を1回	
小児肺炎球菌		2か月～5歳未満	4回	初回:1歳に至るまでに27日以上の間隔で3回 追加:1歳～1歳3か月に至るまでに初回3回目の接種後60日以上の間隔で1回	標準の接種開始年齢を過ぎた等の場合、接種回数が異なります。 早めに、かかりつけ医師とご相談ください。	
B型肝炎		1歳未満	3回	27日以上の間隔で2回接種後、1回目の注射から139日以上の間隔で1回	母子感染予防(保険適用)としてすでにB型肝炎ワクチンを接種した方は対象になりません。	
BCG		1歳未満	1回	5か月～7か月		
麻しん・風しん(MR)	1期	1歳～2歳未満		1回	麻しん又は風しんどちらかにかかった方も、麻しん風しん混合ワクチンを接種できます。	
	2期	5歳～7歳未満で 小学校就学前の1年間(年長)		1回		
水痘		1歳～3歳未満	2回	1回目は1歳～1歳2か月 3か月以上(6か月～12か月未満)の間隔で2回	水ぼうそうにかかった方は対象外になります。	
日本脳炎	1期初回	6か月～7歳半未満	3回	3歳	6日以上(6～28日)の間隔で2回 1期初回2回目の接種後6か月以上(おおむね1年)を経過した時期に1回	日本脳炎流行地域に渡航・滞在する場合、最近日本脳炎患者が発生した地域に居住する場合等に、6か月から接種を開始することが推奨されます。
	1期追加	6か月～7歳半未満		4歳		
	2期	9歳～13歳未満	1回	9歳	接種時期に、対象者へ個別通知します。	
2種混合(DT) ジフテリア、破傷風		小学6年生(11歳～13歳未満)	1回	11歳	接種時期に、対象者へ個別通知します。	

※1 令和6年4月から4種混合ワクチン(ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ)とヒブワクチンを混合した5種混合ワクチンが定期予防接種の対象となります。4種混合ワクチン及びヒブワクチンを1回も接種していない方は、5種混合ワクチンの1期初回1回目を接種してください。既に4種混合ワクチン及びヒブワクチンを接種されている方は、引き続き4種混合ワクチン及びヒブワクチンを決められた回数接種してください。

※ おたふくかぜ、インフルエンザ等は、任意接種(自費)です。かかりつけ医師と相談し、接種してください。